資料２

# 令和８年度

# 施政方針及び予算（案）の大綱

埼玉県　鴻巣市

SDGs未来都市
KONOSU

# 令和８年度施政方針及び予算（案）の大綱

## １　施政方針

### （１）はじめに

本日ここに、令和８年度予算案及び関連諸議案のご審議をいただくにあたり、新年度の市政運営に臨む所信の一端を申し述べます。

昨年、本市は、合併 20 周年という大きな節目を迎え、これまでの歩みを振り返り、今後のまちづくりの方向性について深く考える一年となりました。

市民の皆さんに合併 20 周年を実感していただくため、スポーツフェスティバルや花のイベント、公民館まつり、親子交流フェスなどの多彩な記念事業や冠事業を通じ、地域間・世代間の交流の輪を広げ、本市の特長と魅力を発信してまいりました。

また、合併 20 周年を記念し、本市が推進する SDGs のまちづくりの基本的な考え方である「経済・社会・環境」の３側面が調和した持続可能なまちづくりのシンボルとして、「コウノトリ」を市の鳥に制定するなど、地域の誇りと一体感を醸成する取組も展開しております。

これらのまちづくりの取組をシティプロモーションとして展開してきたことが、全国的にも高く評価され、本年１月 29 日、地域の魅力を内外に効果的に発信している団体を選出する「シティプロモーションアワード 2025」において、最高位となる「金賞」を受賞することができました。

この受賞は、合併 20 周年にふさわしい成果であり、全国に向け、鴻巣市の大きな花を咲かせることができたことは、議会をはじめ、関係各位のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

また、本年２月には、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックが開幕し、現在、熱い戦いが展開されており、３月には、パラリンピックの開幕が予定されています。

オリンピック・パラリンピックに本市在住の選手が出場されることは、本市にとって大変喜ばしく栄誉なことでもあり、市民の活躍を大変うれしく思います。

**（２）令和７年度の取組**

令和７年度は、市政運営の３つの基本理念のもと、「しあわせと生きがいを感じられる“ウェルビーイング”なまちづくり」の実現に向け、着実に事業を実施してまいりました。

１つ目の「くらしやすさを実感できるまちづくり」では、市民の皆さんの暮らしの安全・安心、そして、利便性の向上に向けた取組を展開しています。

火災から命を守る住宅用火災警報器の設置や適正な更新の促進に加え、家具の転倒防止器具等の設置を支援することで、災害時の被害を最小限に抑える自助の備えの普及に取り組みました。

また、自治会や町内会による地域防犯カメラの設置を支援し、通学路や身近な生活道路で発生する犯罪の抑止と地域による見守りの取組を支援しました。

コミュニティバス「フラワー号」を運行し、誰もが移動しやすい交通環境の維持を図るとともに、環境にやさしい EV バスへの入替えを進めています。

このような取組の積み重ねが、日々の暮らしの小さな不安を減らし、当たり前の安心と便利さを実感できる土台となり、安全で利便性の高いまちづくりの実現へとつながるものと考えています。

２つ目の「こども・若者、子育てにやさしいまちづくり」では、次代を担うこどもたちの健やかな成長と子育て世代への支援、教育環境の充実に取り組みました。

昨年の４月１日には、「鴻巣市こどもの権利条例」を施行し、すべてのこどもが尊重され、意見を表明でき、守られるという原則を、本市のこどもに係る施策の方針の根幹として位置付けました。こどもの居場所と食の支えでは、鴻巣女子高校やこども食堂運営団体、こうのとり SDGs パートナーをはじめとした支援団体等、様々なステークホルダーとの協働・連携により、出張こども食堂を開催し、こども、保護者、地域の大人がゆるやかにつながる機会を増やしています。

また、適応指導教室「Let’s」と校内教育支援センター「With」の拡充や連携により、学校内外での学びと支援が途切れることのない体制づくりを進めています。

このように、『こどもまんなか』の考えに基づく取組の充実により、行事やイベントだけではなく、普段の生活の中でこどもたちが安心して過ごせる場面を増やし、こどもの成長と挑戦をまち全体で支える環境が着実に広がっています。

そして、３つ目の「SDGs の推進による持続可能なまちづくり」では、全世界共通の持続可能な開発目標である SDGs の理念に基づくまちづくりを、市民・事業者の皆さんと協働して展開し、誰一人取り残さない持続可能な地域づくりを推進しています。

昨年は、「EXPO 2025 大阪・関西万博」における地方創生 SDGs フェスに県内自治体で唯一出展し、国内外に向けて本市の SDGs 未来都市としての取組と地域資源や魅力を発信しました。

また、本年３月 20 日には「こうのとり SDGs フェスティバル 2026」を開催します。

同フェスティバルの開催により、環境、福祉、教育、産業など多様なテーマにふれながら、こどもから大人までが「自分ごととしての SDGs」を体験できる場を提供し、SDGs の行動変容へとつながるきっかけづくりとなることを期待しています。

また、資源循環や省エネルギーの推進、生物多様性の保全などの取組を、こうのとり SDGs パートナーをはじめとする企業や団体、市民の皆さんとの協働により進めることで、環境配慮に対する意識と行動を、日常の暮らしの中に着実に根づかせていくことが重要であると認識しています。

その上で、これらの取組を地域全体へ展開し、学びと実践の積み重ねによる持続的な成長の好循環を構築することで、将来世代へより良い地域を引き継いでまいります。

**（３）国・県の動き**

国は、物価と賃金の好循環を定着させつつ、生活の安心確保、危機管理投資・成長投資、防衛・外交力の強化を柱とする「強い経済」の実現を掲げ、令和８年度予算編成の基本方針として、成長分野への戦略的投資の加速、物価・賃金動向を踏まえた制度の見直し、EBPM の徹底と歳出・歳入両面の改革を進めることが示されています。地方向けの補助金としては、30.5 兆円が予定され、いわゆる高校無償化や公立小学校給食費の抜本的な負担軽減、いわゆる給食無償化などが盛り込まれる一方で、地方創生関係予算については、減額となる見通しとなっています。

埼玉県においては、人口減少・超少子高齢社会の進行、激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応を「２つの歴史的課題」と位置づけ、時代の変化を捉えた中長期的な施策を推進しています。

また、「日本一暮らしやすい埼玉」５か年計画の総仕上げとして、これまで取り組んできた事業の実効性を PDCA サイクルに基づき検証・改善することによりブラッシュアップし、将来像の着実な実現を図っていくこと、時代の変化に対応した不断の行財政改革の推進として、DX の推進や事業レビューを通じ、限られた財源・人材を重点的に活用するとともに、物価上昇の継続も踏まえ、適正な単価設定や基準額の見直しなど社会情勢の変化に適切に対応することが示されています。

**（４）喫緊の課題**

喫緊の課題である物価高騰対策として、本年１月 21 日の令和８年第１回鴻巣市議会臨時会において、市民や事業者の皆さんの負担軽減を目的とする補正予算を議決いただき、事業の早期実施に向けた準備を進めています。

市民全体に効果が波及する「こうのす空・花クーポン券 2026 事業」をはじめ、子育て世帯へ「のすっ子応援手当」の給付、保育所等に対する支援金の給付、中学校給食食材費高騰分への支援、高齢者のインフルエンザ・新型コロナ予防接種自己負担分の軽減、医療機関や介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所等への支援金の給付、省エネ家電への買い換えに対する補助、肥料価格高騰に対する支援金の

支給、自転車乗車用ヘルメットや防犯対策機器、地域防犯カメラ、住宅リフォームへの補助など、幅広く展開することとしています。なお、各種の物価高騰対応事業に65歳以上の高齢者世帯と障害者手帳所持世帯を対象とした「高齢者・障がい者世帯安全・安心重点支援メニュー」を設けています。

また、令和８年度当初予算案においても、生活者支援及び事業者支援の両面に効果のある「水道基本料金４か月分の免除」を提案しております。

これら物価高騰対応事業については、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」に、市の一般財源を追加して展開するもので、その総額は、11億９千万円を予定しており、過去最大規模の物価高騰対策となります。

本市では、市民生活と地域事業者を幅広く、かつ、重点的に支援することで、誰一人取り残さないまちづくりを進めてまいります。

**（５）令和８年度の市政運営**

令和８年度は、物価高騰に負けない生活者支援や事業者支援を講じつつ、国の補正予算との一体的な運用やエビデンスに基づく検証を徹底するとともに、県が掲げる人口減少や災害の激甚化への対応、不断の行財政改革の推進といった方向性を踏まえ、市政運営を進めてまいります 。

市においては、第６次鴻巣市総合振興計画の最終年度を迎えることから、これまで実施してきた各種事業の成果と課題を総点検した上で、すべての政策分野についての総仕上げに取り組みます。

その過程において、事業効果や市民ニーズを踏まえ、実施効果が十分でない事業や重複する事業については、集約や廃止を含めた見直しを行うとともに、民間の技術やノウハウの活用などにより、より効果的・効率的な事業展開を図ってまいります。

このような考えのもと、本市の政策展開を次の10年につながる確かな歩みとするため、政策調整ヒアリングによる行政評価の確認、予算ヒアリングによる効果的・効率的な予算編成、実施計画による大規模事業等の将来展開の判断という、３段階の政策決定プロセスを導入し、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進してまいります。

そこで、令和８年度の市政運営にあたっては、次の３つの理念を重点として、市政を展開してまいります。

第１は、「こども・若者、子育てにやさしいまちづくり」を推進します。

笑顔あふれる温かい子育て環境の実現に向け、学びと成長、そして、家庭と地域が連携し、子育て期における安心を切れ目なく支える体制を整備します。

第２は、「安全・安心で利便性が実感できるまちづくり」です。

社会インフラの計画的な更新、防災・防犯・交通安全施策などを総合的に推進し、市民の皆さんが日常生活の中での確かな安全と安心を実感できる環境を整備します。

第３は、「SDGs の取組の深化による持続可能なまちづくり」です。
環境負荷の低減、脱炭素の推進、市民協働と官民連携の拡大を図り、SDGs の理念を、全世代、全施策に拡げ、持続可能性を行政運営の基本として定着させることにより、「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現を目指します。

**（６）令和８年度の主な事業展開**

これら３つの基本理念のもと、６つの政策を横断的に推進し、令和８年度の各種事業を積極的に展開します。
１つ目の「こども・若者、子育てにやさしいまちづくり」では、こどもの権利条例の理念の実践として、こどもの意見を聴く機会の増加に努めます。
また、相談場所や居場所づくりの支援、妊産婦健診助成の拡充、子育て支援センターの機能強化などのほか、吹上地域に保育所と児童発達支援センター、子育て支援センターの機能を有する複合施設を建設します。
さらに、児童センターにおいて出張こども食堂を継続して実施し、食の安心の確保と、こども・保護者・地域住民の交流促進を図ります。
学校教育では、適応指導教室「Let's」と校内教育支援センター「With」を拡充し、必要な支援に迷わずアクセスできる体制を整備するほか、小・中学校体育館への空調設備導入に向けた設計業務を実施します。

２つ目の「安全・安心で利便性が実感できるまちづくり」では、住宅用火災警報器の更新や家具の転倒防止の支援を一層拡充するほか、地域防犯カメラの設置支援により、通学路などへ計画的な整備を推進します。
また、「鴻巣市地域公共交通計画」を策定し、移動への不安を軽減しつつ持続可能な公共交通を展開してまいります。
さらに、高齢者、障がい者及び子育て世代を含むすべての駅利用者の利便性向上を図るため、鴻巣駅東口にエレベーターの整備を推進します。

３つ目の「SDGs の取組の深化による持続可能なまちづくり」では、「EXPO 2025 大阪・関西万博」のレガシー等を活用し、「SDGs 推進啓発コーナー」を設けることで、本市やこうのとり SDGs パートナーである企業・団体の取組を紹介し、市民の皆さんの SDGs に対する理解の促進と実践につなげてまいります。
また、内閣府から、本年９月に東京ビッグサイトで開催予定の「地方創生 SDGs フェス 2026」に関する情報提供があったことから、出展に向けた調整を進めています。
このほか、行財政運営の面では、すべての政策分野に SDGs の理念を位置付け、事業の目的や指標、実施期限を明確にした上で、効果検証と重点化、官民連携の推進を通じ、限られたリソースを有効に活用してまいります。

**（７）政策別の事業展開**

続いて、総合振興計画に基づく６つの政策ごとに、新規事業や拡充事業を中心に、申し述べます。

**政策１　子育て・教育・文化に関する政策**
**～未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり～**

「こどもまんなか推進事業」では、こどもの権利条例の普及啓発に引き続き取り組むとともに、令和７年度に開設した「こどものいけんばこ」で寄せられた声を、市政に活かす仕組みの定着を図ります。また、夏休み期間における小・中学生のフラワー号運賃無料化についても実施します。

「特定教育・保育所等支援事業」では、これまで試行的事業として実施してきたこども誰でも通園制度を本格実施し、すべての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに合わせて柔軟に利用できるよう支援します。

「吹上地域保育園等新設整備事業」では、老朽化が進む保育所や児童発達支援センターの機能を統合し、地域子育て支援拠点機能を有する複合施設として、令和 10 年４月の開所に向けた建設工事に着手します。

「地域子育て支援事業」では、新たに日曜日も開設するなど、機能を拡充するとともに、マザーズハローワークと連携し、育児と就労の両立を支える新たな支援を開始します。

「母子家庭等対策総合支援事業」では、経済的不安の軽減と自立を支援するため、公正証書等の作成費用の助成を開始し、養育費の確保に向けた支援を強化するほか、コスメバンクプロジェクトを活用した化粧品等ギフトを新たに配付します。

「母子健診事業」では、本年度から産後うつ予防や早期の支援につなげるため、産婦健康診査の助成回数を拡大し、妊娠期から子育て期までの伴走型支援を切れ目なく実施します。

「小学校ふれあいサポート事業」及び「適応指導教室活用事業」では、特別支援学級や通級指導教室を増設、医療的ケアが必要な児童の入学に備えた看護師の配置、校内教育支援センター「With」の増設など、こどもの多様な学びを支える支援を拡充します。

「小・中学校給食運営事業」では、令和８年度から小学校の給食無償化を開始するほか、中学校では食材費高騰分を補助することで保護者の負担軽減を図ります。

「小学校施設改修事業」では、赤見台第一小学校の屋上防水等の改修設計のほか、体育館の空調設備設計を実施します。

「中学校施設改修事業」では、鴻巣西中学校の施設移設等の設計のほか、体育館の空調設備設計を実施します。

「（仮称）川里義務教育学校整備事業」では、建設予定地の用地買収を行います。

「地域人材活用事業」では、部活動の地域展開を円滑に進めるため、部活動の受け皿となる新たな地域クラブの設立を支援する補助金を創設します。

## 政策２　保健・福祉・医療に関する政策
## ～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～

「予防接種事業」では、新たに妊婦のRSウイルスワクチン、高齢者の肺炎球菌20価ワクチン、高用量のインフルエンザワクチンの接種を開始します。

「高齢者インフルエンザ・新型コロナ予防接種促進事業」では、自己負担額の一部を市が負担し、高齢者を経済的に支援することで、接種率の向上を図り、重症化予防につなげます。

「特定健康診査等事業」では、受診者にSDGsポイント「ブーケ」を付与するとともに、未受診者にはAIによる架電やSMSを活用した受診勧奨を実施します。

「ねんりんピック交流大会開催事業」では、「第38回全国健康福祉祭埼玉大会ソフトボール交流大会」の会場市として、着実な大会運営を行うとともに、健康づくりブースやおもてなし処を設置し、本市の魅力を発信してまいります。

「介護保険特別会計庶務事業」では、「第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手し、人口構造の変化への対応とサービスの質の両立を目指す持続可能な制度設計を進めます。

「重度心身障害者医療費助成事業」では、対象範囲を拡大し、家計の負担軽減を図ります。

## 政策３　安全・安心に関する政策
## ～安全・安心に暮らせるまちづくり～

「防災訓練事業」では、民間のノウハウを取り入れ、市民参加型の避難所開設訓練を新たに実施し、防災意識の高揚と知識の向上を図ります。

「家具転倒防止器具等設置促進事業」では、家具転倒防止器具等の購入・設置に対する補助を実施し、高齢者世帯や障がい者世帯は２回目の申請を可能とするなど内容を拡充します。

「災害支援体制整備事業」では、最新の災害検証を踏まえ、備蓄品目や数量を見直し、ラップ式簡易トイレ等の追加整備を進めます。

「消防ポンプ自動車更新事業」では、準中型免許を要しない可搬消防ポンプ積載車の導入を進めます。

「交通安全啓発事業」では、交通事故の被害を軽減し、命を守る自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するため、購入費用の助成を全年齢で継続して実施します。

「地域防犯体制支援事業」では、事業規模を拡大するほか、高齢者や障がい者については、２回目の申請を可能とします。

「エコな住環境づくり事業」では、家庭での省エネを後押しするため、冷蔵庫に加えて新たにエアコン及び蛍光灯からLED照明器具への買換えに対する補助を行い、脱炭素社会の実現を目指すほか、高齢者世帯や障がい者世帯に対する交付額の加算を行います。

「水道事業」では、生活者支援及び事業者支援の両面に効果が波及する「水道基本料金４か月分の免除」を行うほか、浄水場耐震補強の設計業務、環境基準の改正や事業環境の変化を踏まえた「水安全計画」の全面的な見直しを実施します。また、水道事業の基盤強化を図るため、「次期水道事業ビジョン」の策定に着手します。

「公共下水道事業」では、下水道事業の将来を見据え、ウォーターPPP の導入に向け、管理を委託する施設や内容の検討を進めます。

**政策４　都市基盤に関する政策**
**～都市機能と豊かな自然が調和した住みよい快適なまちづくり～**

「住宅リフォーム支援事業」では、事業規模を拡大し、暮らしの質の向上と地域経済の活性化を図ります。なお、高齢者世帯や障がい者世帯は補助金を加算して交付します。

「市道 A-1004 号線整備事業」では、国道 17 号箕田(南)交差点から北側(川里地域側)約 100m区間において、交差点改良に取り組みます。

「上尾道路接続市道整備事業」では、測量、物件調査を進め、広域交通ネットワークにおける機能強化を図ります。

「荒川左岸通線整備事業」では、先行取得した用地の買戻しや物件調査を行い、地域間交通の利便性向上につなげます。

「三谷橋大間線（３期工事）整備事業」では、用地買収と物件移転補償を進め、東西交通の利便性を高めます。

「公共下水道事業」では、北新宿第二土地区画整理事業地内の汚水・雨水管路の整備や西部第３排水区では雨水幹線、調整池の整備を進めます。

「鴻巣駅東口エレベーター整備事業」では、令和９年度までの２か年でエレベーターの整備を行い、高齢者や障がいのある方、子育て中の方も含めたすべての駅利用者の利便性を高めます。

「既設公園施設・遊具改修事業」では、遊具点検結果に基づき遊具改修等を行うほか、「（仮称）北新宿近隣公園整備事業」では、インクルーシブ遊具等の施設整備工事や四阿・トイレの建築工事を行います。

「コウノトリ飼育施設管理運営事業」では、関東地方におけるコウノトリの遺伝的多様性を考慮した繁殖に引き続き取り組むことで、将来の放鳥を目指します。

**政策５　産業に関する政策**
**～にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり～**

「こうのす空・花クーポン券 2026 事業」では、エネルギー、食料品等の物価高騰に伴い影響を受けている市民と原材料費等の価格高騰の影響を受けている市内事業者を支援し、地域経済の活性化を図ります。

「空き店舗対策事業」では、補助金を増額し、商店街等の空き店舗の解消とにぎわい創出につなげます。

「肥料価格高騰対策支援金給付事業」では、肥料価格の高騰により、厳しい経営環境にある農業者に対し、肥料購入費の一部を補助し経営を支援します。

「道の駅整備事業」では、建築工事に着手するほか、引き続き、道の駅の土木工事やアクセス道路の工事を行います。

観光分野では、「花かおり PR 推進事業」と「観光振興事業」を統合して、新たに「観光交流促進事業」とし、観光資源の一体的な活用を推進するほか、「総合振興計画」の策定に合わせて、「観光戦略計画」の検証と改定を行います。

**政策６　市民協働・行政運営に関する政策**
**～市民協働による一人一人が主役のまちづくり～**

「第７次総合振興計画策定事業」では、次の 10 年を見据えた将来都市像と政策の方向性等を取りまとめ、令和９年度を始期とする「第７次総合振興計画」を策定します。

「公共施設等マネジメント事業」では、最適な公有財産の保有・利活用・処分によるファシリティマネジメントを推進するとともに、施設の有効な利活用策や効率的な維持管理に関する提案を民間事業者から募集します。

「包括施設管理業務事業」では、第２期契約に向けた公募型プロポーザル方式による事業者選考を行います。

「DX 推進事業」では、「デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の計画期間が令和８年度に満了となることから、令和９年度から５か年間の次期計画を策定します。

「SDGs 推進事業」では、本市の SDGs の取組の発信拠点として SDGs 推進啓発コーナーを市役所本庁舎ロビーに整備するほか、「SDGs 取組事例発表会」の開催を通じてこうのとり SDGs パートナー制度の充実を図るなど、市民や事業者の行動変容を後押しします。

## ２　予算（案）の大綱

### （１）令和８年度予算（案）の基本的な考え方

続いて、令和８年度予算（案）の大綱について申し上げます。

令和８年度予算の編成にあたりましては、歳出では、市財政の厳しい状況が続く中、市民一人一人が安心して暮らせる地域づくりと、持続可能な社会基盤の強化を最優先に考え、市民に最も身近な基礎自治体として、ウェルビーイングなまちづくりに取り組むため、より一層の歳出の効率化と重点化、事業の選択と集中の推進に努めています。

歳入では、国の地方財政対策を踏まえ、地方特例交付金や地方交付税などを予算に反映したほか、国庫支出金及び県支出金を最大限に活用した予算としています。

それでは、令和８年度予算の規模と内容について、その概要を申し上げます。

**（２）予算規模**

令和８年度一般会計予算の総額は、472億2,900万円、令和７年度と比較すると、40億9,800万円、約9.5%の増となり、過去最大の予算規模となります。

①一般会計歳入

歳入の根幹をなす市税は、市民税では、納税義務者の所得額増加などによる増収を見込み、前年度比２億8,324万１千円増の83億2,334万６千円とし、また、固定資産税においては、新築家屋数の増加などを見込み、前年度比２億3,218万９千円増の64億1,761万２千円とするなど、市税全体では、前年度比５億6,582万４千円増の164億2,887万１千円を計上しています。

地方消費税交付金は、前年度比３億2,600万円増の28億7,600万円、地方特例交付金は、前年度比１億826万５千円増の２億826万５千円を計上しています。

地方交付税は、国の地方財政対策により、地方団体が様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、令和７年度を上回る額を確保するとしていることから、９億6,500万円増の80億8,500万円を計上しています。

また、国庫支出金は、水道基本料金４か月分の免除に係る物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、小・中学校における学習者用端末の更新に係る公立学校情報機器整備事業費補助金などにより、前年度比７億6,204万７千円増の84億2,819万６千円を計上しています。

県支出金は、公立小学校の給食無償化に係る給食費負担軽減交付金などにより、前年度比４億76万５千円増の38億1,958万６千円を計上しています。

繰入金は、合併振興基金繰入金では、重点事業である道の駅整備事業への活用として、前年度比１億391万１千円増の２億9,194万３千円、ごみ処理施設等整備基金繰入金では、埼玉中部環境保全組合負担金のうち新ごみ処理施設関係分への活用として、7,660万８千円の皆増などの一方、財政調整基金繰入金では、前年度比６億3,000万円減の11億8,000万円、繰入金全体では、前年度比５億1,550万円減の18億9,649万８千円を計上しています。

市債は、吹上地域保育園等整備事業債、道の駅整備事業債の増加などにより、14億5,530万円増の22億4,420万円を計上しています。

②一般会計歳出

次に、歳出を目的別で見ますと、議会費は195万４千円の増、総務費は２億2,034万４千円の減、民生費は15億6,584万２千円の増、衛生費は６億8,555万７千円の増、労働費は10万６千円の増、農林水産業費は９億7,677万円の増、商工費は203万２千円の増、土木費は２億8,339万５千円の増、消防費は２億513万４千円の

増、教育費は７億5,573万８千円の増、公債費は１億6,320万円の減となっています。中でも、歳出予算の約45.4%を占める民生費は214億4,268万５千円を計上し、利用者の増加などが続く障害者自立支援給付事業、公定価格改定の影響などにより増額となる特定教育・保育所等支援事業、建設工事を開始する吹上地域保育園等新設整備事業などの各福祉事業における手厚い支援や充実したサービスを実施するための予算としています。

また、衛生費では、生活者支援に係る水道事業会計助成事業、農林水産業費では、地域振興施設の建築工事を開始する道の駅整備事業、教育費では、小・中学校におけるICT環境を更新する小学校教育ICT環境整備事業及び中学校教育ICT環境整備事業、給食無償化を実施する小学校給食運営事業などにより増額予算としています。

一方、減額となった費目としては、総務費では、自治体情報システム標準化移行等対応業務に係る基幹系システム事業の減などが主な要因となっています。

このほか、施政方針に掲げた「３つの基本理念」に基づく重点事業をはじめ、総合振興計画に基づく６つの政策を着実に推進するための予算編成としております。

③特別会計

次に、特別会計の予算規模についてご説明申し上げます。

国民健康保険事業特別会計については、令和８年度からの子ども・子育て支援制度の開始に伴う子ども・子育て支援納付金の新設や税率改正により国民健康保険税が増額となる一方、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行に伴い被保険者が減少していることなどによる保険給付費の減が主な要因となり、115億1,200万円、前年度比２億2,300万円、約1.9%の減となっています。

介護保険特別会計については、訪問介護などの居宅サービス利用に係る居宅介護サービス給付費の増が主な要因となり、103億1,700万円、前年度比２億200万円、約2.0%の増となっています。

北新宿第二土地区画整理事業特別会計については、事業進捗に伴う区画道路築造工事などの増が主な要因となり、７億2,100万円、前年度比１億1,000万円、約18.0%の増となっています。

広田中央特定土地区画整理事業特別会計については、換地処分に要する事業計画変更及び換地計画作成業務委託料などの増が主な要因となり、１億7,300万円、前年度比9,700万円、約127.6%の増となっています。

後期高齢者医療特別会計については、被保険者が増加していることや、子ども・子育て支援制度の開始に伴い、歳入では後期高齢者医療保険料、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金のうち保険料納付金が増加したことが主な要因となり、24億4,000万円、前年度比３億3,900万円、約16.1%の増となっています。

④公営企業会計

最後に、公営企業会計の予算規模についてご説明申し上げます。

まず、水道事業会計の支出は、収益的支出が25億5,837万７千円、前年度比２億3,921万２千円、約10.3%の増、資本的支出が10億9,296万６千円、前年度比３億416万８千円、約21.8%の減となっています。

収益的支出の増加は、県営水道料金の改定に伴う県水受水費の増、資本的支出の減少は、配水管布設替工事及び設計業務委託の減が主な要因となっています。

次に、公共下水道事業会計の支出は、収益的支出が25億3,372万２千円、前年度比1,053万９千円、約0.4%の増、資本的支出が13億8,563万１千円、前年度比２億2,204万９千円、約13.8%の減となっています。

収益的支出の増加は、ウォーターPPP発注支援業務委託料の増、資本的支出の減少は、上尾道路汚水管渠布設替工事、マンホール蓋改築工事の減が主な要因となっています。

次に、農業集落排水事業会計の支出は、収益的支出が１億6,254万円、前年度比443万１千円、約2.7%の減、資本的支出が4,394万８千円、前年度比67万７千円、約1.5%の減となっています。

収益的支出の減少は、処理場施設の修繕費の減、資本的支出の減少は、企業債償還金の減が主な要因となっています。

予算（案）の大綱の説明は以上となります。

## ３　誰も取り残さず、未来へ羽ばたくまちづくり

私は、令和４年８月の市長就任以来、「市長への意見・提言」、市長と語る地域懇談会、そして、「こどものいけんばこ」などを通じ、1,300件を超えるご意見や要望を伺ってまいりました。

これら一つひとつの声を総合的に受け止め、既存事業の見直しや改善にも反映しながら、新たに着手した事業や拡充した事業として、およそ200件に及ぶ取組を進めてまいりました。

この間は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応などが求められた時期でもありましたが、市民の皆さんのご意見などを参考としながら市政を運営したことで、私が掲げる「市民と歩む新しい鴻巣」のまちづくりは、一歩一歩着実に前進していると実感しております。

これらの取組により、全国的に人口減少が進む中にあっても、本市において11年間連続して転入超過が続いていることから、住み続けたいまちとしての評価が着実に高まっている表れであると受け止めています。

令和８年度は、第６次鴻巣市総合振興計画の最終年度として、EBPM に基づく検証を徹底し、各事業の成果や課題を把握した上で、今後の事業効果の向上と運営の効率化を図ります。

これらの検証結果を第７次鴻巣市総合振興計画へと確実に引き継ぐことにより、持続可能なまちづくりを一層前進させてまいります。

新たな鴻巣市として歩んできた合併後 20 年間のまちづくりを、次の 10 年への確かな推進力とし、市民の皆さんが、鴻巣市に誇りと愛着を持ち、子育てしやすく、学びやすく、働きやすく、住みやすいまちを築いてまいります。そして、市民一人一人が主人公となり、ウェルビーイングを実感できるまちを目指し、「誰も取り残さず、未来へ羽ばたくまちづくり」を、議員各位をはじめ、市民や事業者・団体等の皆さんと力を合わせて推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げ、令和８年度の施政方針といたします。

# 令和８年度

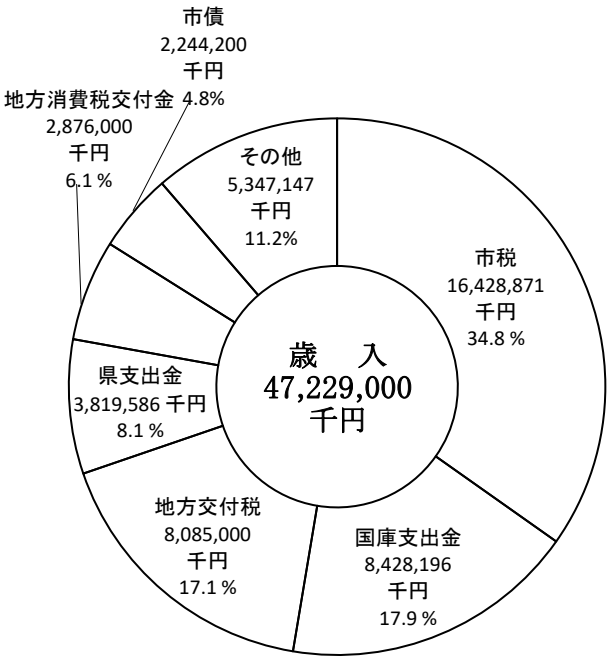
# 予　算　参　考　資　料

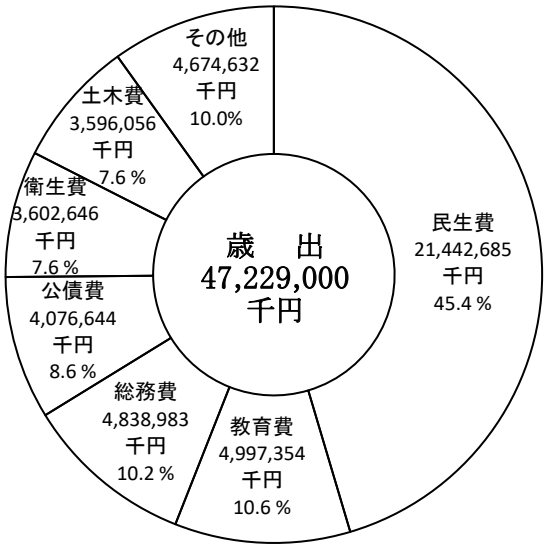
# （鴻　巣　市）

## １．会計別予算総括表

| 会　計　名 | 本年度予算額 (A) | 前年度予算額 (B) | 比較増減 (A) － (B) (C) | 増減率 (C) ／ (B) ×100 |
|---|---|---|---|---|
| | 千円 | 千円 | 千円 | % |
| ○ 一　般　会　計 | 47,229,000 | 43,131,000 | 4,098,000 | 9.5 |
| ○ 特　別　会　計 | 25,163,000 | 24,638,000 | 525,000 | 2.1 |
| (ア) 国民健康保険事業 | 11,512,000 | 11,735,000 | △ 223,000 | △ 1.9 |
| (イ) 介　護　保　険 | 10,317,000 | 10,115,000 | 202,000 | 2.0 |
| (ウ) 鴻巣都市計画事業 北新宿第二土地区画整理事業 | 721,000 | 611,000 | 110,000 | 18.0 |
| (エ) 鴻巣都市計画事業広田中央 特定土地区画整理事業 | 173,000 | 76,000 | 97,000 | 127.6 |
| (オ) 後期高齢者医療 | 2,440,000 | 2,101,000 | 339,000 | 16.1 |
| ○ 公営企業会計 | 7,777,184 | 8,058,758 | △ 281,574 | △ 3.5 |
| (ア) 水道事業会計 | 3,651,343 | 3,716,299 | △ 64,956 | △ 1.7 |
| 収益的支出 | 2,558,377 | 2,319,165 | 239,212 | 10.3 |
| 資本的支出 | 1,092,966 | 1,397,134 | △ 304,168 | △ 21.8 |
| (イ) 公共下水道事業会計 | 3,919,353 | 4,130,863 | △ 211,510 | △ 5.1 |
| 収益的支出 | 2,533,722 | 2,523,183 | 10,539 | 0.4 |
| 資本的支出 | 1,385,631 | 1,607,680 | △ 222,049 | △ 13.8 |
| (ウ) 農業集落排水事業会計 | 206,488 | 211,596 | △ 5,108 | △ 2.4 |
| 収益的支出 | 162,540 | 166,971 | △ 4,431 | △ 2.7 |
| 資本的支出 | 43,948 | 44,625 | △ 677 | △ 1.5 |
| 総　計 | 80,169,184 | 75,827,758 | 4,341,426 | 5.7 |

## 2．一般会計歳入歳出予算構成グラフ




## 3．一般会計予算性質別歳出内訳比較表

| 区分 / 性質別 | 本年度予算額 | | 前年度予算額 | | 比較増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（A） | 構成比 | 金額（B） | 構成比 | (A) － (B) (C) | (C)/(B)×100 |
| | 千円 | % | 千円 | % | 千円 | % |
| 人件費 | 7,453,148 | 15.8 | 7,207,806 | 16.7 | 245,342 | 3.4 |
| 物件費 | 8,028,579 | 17.0 | 7,294,460 | 16.9 | 734,119 | 10.1 |
| 維持補修費 | 935,442 | 2.0 | 915,239 | 2.1 | 20,203 | 2.2 |
| 扶助費 | 12,780,909 | 27.0 | 12,223,451 | 28.4 | 557,458 | 4.6 |
| 補助費等 | 5,713,657 | 12.1 | 4,753,397 | 11.0 | 960,260 | 20.2 |
| (うち一部事務組合負担金) | (2,606,923) | (5.5) | (2,292,079) | (5.3) | 314,844 | 13.7 |
| 普通建設事業費 | 3,343,117 | 7.1 | 1,884,447 | 4.4 | 1,458,670 | 77.4 |
| 災害復旧事業費 | 5 | 0.0 | 5 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 公債費 | 4,076,625 | 8.6 | 4,239,825 | 9.8 | △ 163,200 | △ 3.8 |
| 積立金 | 368,611 | 0.8 | 181,076 | 0.4 | 187,535 | 103.6 |
| 投資及び出資金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 貸付金 | 34,912 | 0.1 | 35,394 | 0.1 | △ 482 | △ 1.4 |
| 繰出金 | 4,449,166 | 9.4 | 4,356,087 | 10.1 | 93,079 | 2.1 |
| 予備費 | 44,829 | 0.1 | 39,813 | 0.1 | 5,016 | 12.6 |
| 歳出合計 | 47,229,000 | 100.0 | 43,131,000 | 100.0 | 4,098,000 | 9.5 |

# 4．一般会計予算款別比較表

（歳　　入）

| 款 | 本年度予算額 | | 前年度予算額 | | 比較増減 | 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（A） | 構成比 | 金額（B） | 構成比 | (A)－(B)　(C) | (C)/(B)×100 |
| | 千円 | % | 千円 | % | 千円 | % |
| 1 市税 | 16,428,871 | 34.8 | 15,863,047 | 36.8 | 565,824 | 3.6 |
| 2 地方譲与税 | 303,845 | 0.6 | 311,111 | 0.7 | △ 7,266 | △ 2.3 |
| 3 利子割交付金 | 18,000 | 0.0 | 9,000 | 0.0 | 9,000 | 100.0 |
| 4 配当割交付金 | 137,000 | 0.3 | 101,000 | 0.2 | 36,000 | 35.6 |
| 5 株式等譲渡所得割交付金 | 133,000 | 0.3 | 117,000 | 0.3 | 16,000 | 13.7 |
| 6 法人事業税交付金 | 166,000 | 0.4 | 153,000 | 0.4 | 13,000 | 8.5 |
| 7 地方消費税交付金 | 2,876,000 | 6.1 | 2,550,000 | 5.9 | 326,000 | 12.8 |
| 8 ゴルフ場利用税交付金 | 17,000 | 0.0 | 17,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 9 自動車取得税交付金 | 1 | 0.0 | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 10 環境性能割交付金 | 1 | 0.0 | 85,000 | 0.2 | △ 84,999 | △ 100.0 |
| 11 地方特例交付金 | 208,265 | 0.4 | 100,000 | 0.2 | 108,265 | 108.3 |
| 12 地方交付税 | 8,085,000 | 17.1 | 7,120,000 | 16.5 | 965,000 | 13.6 |
| 13 交通安全対策特別交付金 | 12,000 | 0.0 | 13,000 | 0.0 | △ 1,000 | △ 7.7 |
| 14 分担金及び負担金 | 237,760 | 0.5 | 210,507 | 0.5 | 27,253 | 12.9 |
| 15 使用料及び手数料 | 492,395 | 1.0 | 473,446 | 1.1 | 18,949 | 4.0 |
| 16 国庫支出金 | 8,428,196 | 17.9 | 7,666,149 | 17.8 | 762,047 | 9.9 |
| 17 県支出金 | 3,819,586 | 8.1 | 3,418,821 | 7.9 | 400,765 | 11.7 |
| 18 財産収入 | 72,392 | 0.2 | 95,179 | 0.2 | △ 22,787 | △ 23.9 |
| 19 寄附金 | 108,504 | 0.2 | 128,454 | 0.3 | △ 19,950 | △ 15.5 |
| 20 繰入金 | 1,896,498 | 4.0 | 2,411,998 | 5.6 | △ 515,500 | △ 21.4 |
| 21 繰越金 | 800,000 | 1.7 | 750,000 | 1.8 | 50,000 | 6.7 |
| 22 諸収入 | 744,486 | 1.6 | 748,387 | 1.8 | △ 3,901 | △ 0.5 |
| 23 市債 | 2,244,200 | 4.8 | 788,900 | 1.8 | 1,455,300 | 184.5 |
| 歳入合計 | 47,229,000 | 100.0 | 43,131,000 | 100.0 | 4,098,000 | 9.5 |

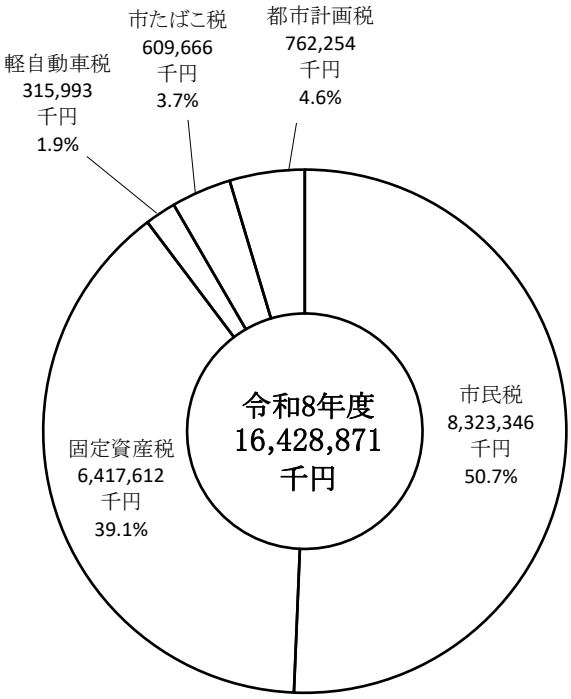
（歳　　出）

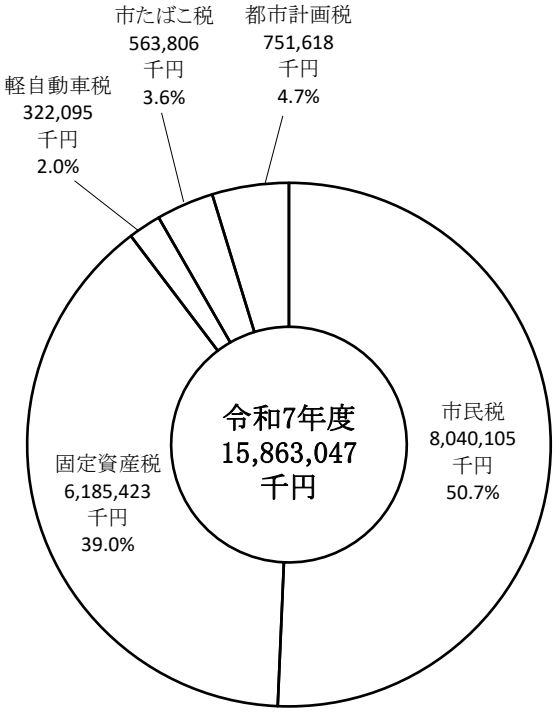
| 款 | 本年度予算額 | | 前年度予算額 | | 比較増減 | 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（A） | 構成比 | 金額（B） | 構成比 | (A)－(B)　(C) | (C)/(B)×100 |
| | 千円 | % | 千円 | % | 千円 | % |
| 1 議会費 | 276,443 | 0.6 | 274,489 | 0.6 | 1,954 | 0.7 |
| 2 総務費 | 4,838,983 | 10.2 | 5,059,327 | 11.7 | △ 220,344 | △ 4.4 |
| 3 民生費 | 21,442,685 | 45.4 | 19,876,843 | 46.1 | 1,565,842 | 7.9 |
| 4 衛生費 | 3,602,646 | 7.6 | 2,917,089 | 6.8 | 685,557 | 23.5 |
| 5 労働費 | 41,785 | 0.1 | 41,679 | 0.1 | 106 | 0.3 |
| 6 農林水産業費 | 1,735,321 | 3.7 | 758,551 | 1.8 | 976,770 | 128.8 |
| 7 商工費 | 518,550 | 1.1 | 516,518 | 1.2 | 2,032 | 0.4 |
| 8 土木費 | 3,596,056 | 7.6 | 3,312,661 | 7.7 | 283,395 | 8.6 |
| 9 消防費 | 2,057,699 | 4.4 | 1,852,565 | 4.3 | 205,134 | 11.1 |
| 10 教育費 | 4,997,354 | 10.6 | 4,241,616 | 9.8 | 755,738 | 17.8 |
| 11 災害復旧費 | 5 | 0.0 | 5 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12 公債費 | 4,076,644 | 8.6 | 4,239,844 | 9.8 | △ 163,200 | △ 3.8 |
| 13 予備費 | 44,829 | 0.1 | 39,813 | 0.1 | 5,016 | 12.6 |
| 歳出合計 | 47,229,000 | 100.0 | 43,131,000 | 100.0 | 4,098,000 | 9.5 |

## ５．一般会計市税内訳比較表

| 区分 / 税別 | 本年度予算額 | | 前年度予算額 | | 比較増減 | 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額（A） | 構成比 | 金額（B） | 構成比 | (A) － (B) (C) | (C)/(B)×100 |
| | 千円 | % | 千円 | % | 千円 | % |
| 1 市民税 | 8,323,346 | 50.7 | 8,040,105 | 50.7 | 283,241 | 3.5 |
| 2 固定資産税 | 6,417,612 | 39.1 | 6,185,423 | 39.0 | 232,189 | 3.8 |
| 3 軽自動車税 | 315,993 | 1.9 | 322,095 | 2.0 | △ 6,102 | △ 1.9 |
| 4 市たばこ税 | 609,666 | 3.7 | 563,806 | 3.6 | 45,860 | 8.1 |
| 5 都市計画税 | 762,254 | 4.6 | 751,618 | 4.7 | 10,636 | 1.4 |
| 計 | 16,428,871 | 100.0 | 15,863,047 | 100.0 | 565,824 | 3.6 |

## 一般会計市税内訳比較グラフ



# ６．社会保障施策に要する経費

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

歳入　（単位：千円）

| 款 | 項 | 目 | 予算額 | うち社会保障財源化分 |
|---|---|---|---|---|
| 7 地方消費税交付金 | 1 地方消費税交付金 | 1 地方消費税交付金 | 2,876,000 | 1,573,000 |

歳出　（単位：千円）

| 款 | 項 | 目 | 予算額 | 財源内訳 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | |
| | | | | | 地方消費税交付金（社会保障財源化分） | その他 |
| 3 民生費 | 1 社会福祉費 | 1 社会福祉総務費 | 2,498,157 | 556,961 | 335,146 | 1,606,050 |
| | | 2 障害者福祉費 | 427,023 | 183,177 | 42,100 | 201,746 |
| | | 3 障害者総合支援事業費 | 3,180,655 | 2,325,351 | 147,667 | 707,637 |
| | | 4 老人福祉費 | 98,088 | 696 | 16,815 | 80,577 |
| | | 5 後期高齢者医療費 | 1,798,167 | 368,812 | 246,777 | 1,182,578 |
| | | 7 高齢者福祉センター費 | 60,495 | 9,462 | 8,811 | 42,222 |
| | | 8 総合福祉センター費 | 21,515 | 66 | 3,703 | 17,746 |
| | 2 児童福祉費 | 1 児童福祉総務費 | 1,630,862 | 1,201,955 | 74,050 | 354,857 |
| | | 2 児童措置費 | 5,961,516 | 4,582,989 | 238,001 | 1,140,526 |
| | | 3 保育所費 | 2,068,686 | 785,530 | 221,536 | 1,061,620 |
| | | 4 児童発達支援センター費 | 106,177 | 34,998 | 12,289 | 58,890 |
| | | 5 児童センター費 | 159,468 | 311 | 27,478 | 131,679 |
| | 3 生活保護費 | 1 生活保護総務費 | 50,945 | 26,517 | 4,218 | 20,210 |
| | | 2 扶助費 | 1,589,548 | 1,236,664 | 60,925 | 291,959 |
| 4 衛生費 | 1 保健衛生費 | 1 保健衛生総務費 | 33,035 | 0 | 5,703 | 27,332 |
| | | 2 予防費 | 635,488 | 31,112 | 104,345 | 500,031 |
| | | 5 保健センター費 | 121,446 | 19,347 | 17,627 | 84,472 |
| | | 6 夜間診療所費 | 32,128 | 2,321 | 5,146 | 24,661 |
| 10 教育費 | 1 教育総務費 | 4 幼稚園費 | 3,842 | 0 | 663 | 3,179 |
| 合計 | | | 20,477,241 | 11,366,269 | 1,573,000 | 7,537,972 |

※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各費目に要する一般財源の比率に応じて按分して充当している。

# ７．政策別の主な事業

## 政策１　子育て・教育・文化に関する政策
## （未来をひらく人材を育て、確かな学びと文化が根付くまちづくり）

政策１に関連する

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| こどもまんなか推進事業 | 「こども計画」の進捗管理を行うとともに、鴻巣市こどもの権利条例の普及啓発を図り、こどもまんなか社会の実現に向けた取組を推進します。<br>令和８年度は、前年度に開設した「こどものいけんばこ」により、継続的に意見を聴き取り、市政運営の参考にします。また、こどもたちの移動支援や猛暑下での熱中症予防など、こどもの安全・安心を守るため、夏休み期間における小・中学生のフラワー号の運賃無料化を実施します。 | 562 | こども応援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>特定教育・保育所等支援事業 | 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業及び特定子ども・子育て支援施設に対し、給付費等を支払うほか、令和６年度、令和７年度に試行的事業として実施した「こども誰でも通園制度」が、令和８年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として創設されたことから、乳児等通園支援事業者に対し、乳児等のための支援給付費を支払います。 | 3,328,761 | 保育課 |
| 吹上地域保育園等新設整備事業 | 建築から40年以上が経過し老朽化が進む鎌塚・吹上富士見の両保育所及び児童発達支援センターつつみ学園を廃止・統合し、新たに子育て支援センター機能を加えた複合施設として、令和10年４月の開所に向け、整備を進めます。なお、令和８年度から令和９年度にかけて建築工事を実施する予定です。 | 748,041 | 保育課 |
| こども家庭センター事業 | こども家庭センター「ここの巣」では、母子保健と児童福祉が一体となり、妊娠期から子育て期に至るまで、妊産婦や子育て家庭、こどもに対して切れ目のない相談体制により、包括的かつ継続的な支援を実施します。 | 29,405 | 子育て支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>地域子育て支援事業 | 従来の地域子育て支援事業と地域子育て支援拠点（サロン型）事業を統合し、合理化を図ります。<br>令和８年度は、利用者のニーズに対応し、川里ひまわり保育園子育て支援センターを、従来の週６日開設から週７日開設に拡充します。また、同センターにおいて、新たにマザーズハローワーク大宮と連携した子育て世代向けの就労支援を実施します。 | 53,782 | こども応援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>子育てフェスティバル開催事業 | 児童センターやこうのすシネマを会場に、子育て世代を応援する体験型イベントを開催します。<br>令和８年度は、こどもの日やハロウィン等、季節に合わせて開催している子育てフェスティバルについて、従来の市内全９館の児童センターでの分散実施から、利用者の多い鴻巣・吹上の両児童センターでの集約実施に再編し、最適化を図ります。 | 747 | こども応援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>母子家庭等対策総合支援事業 | ４月１日の改正民法施行を踏まえ、令和８年度は、養育費確保に向けた公正証書等の作成費用を新たに補助し、ひとり親家庭が安心して子育てできる環境づくりを進めます。また、コスメバンクプロジェクトを活用し、児童扶養手当受給世帯にコスメギフト（化粧品等）を配付することを通じて、生活の質（QOL）を高めるきっかけになることを目指すほか、こどもの居場所事業と連動し、こども食堂を通じてコスメギフトを配付します。 | 23,704 | 子育て支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>母子健診事業 | 母子保健法の規定による妊産婦・乳幼児の健康診査、相談及び保健指導を実施し、母子等の心身の健康保持・増進を図ります。<br>令和８年度は、産後うつの予防、新生児への虐待予防等の対策を強化し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制とするため、産婦健康診査の助成回数を１回から２回に拡充します。 | 106,030 | 子育て支援課 |

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額<br>（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 学力向上支援事業 | 学力向上支援員や理科支援員を各校の実情を踏まえて配置し、小学校の算数及び理科の授業支援を行います。また、小学校では、学習者用端末等を活用し、児童の認知特性に応じた学びを提供する「まるぐランド」や、デジタルドリルとの連動により、個別最適な学びへ繋げる「総合学力調査」を行います。さらに、中学校では「中学校学力調査」を実施し、学習指導のPDCAに生かすなど、児童生徒一人一人の学力の底上げを図ります。 | 33,585 | 学校支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>小学校ふれあいサポート事業 | 特別支援学級や通級指導教室に指導員を配置し、障がいのある児童の学習上、生活上の困難を克服し、自立に向けて必要な知識及び技能の習得を支援します。<br>令和８年度は、自閉症・情緒障がい特別支援学級を設置し、また知的障がい特別支援学級、発達障がい・情緒障がい通級指導教室、難聴・言語障がい通級指導教室を増設します。また、令和８年４月に医療的ケア児が入学予定のため、看護師を配置します。 | 80,345 | 学校支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>適応指導教室活用事業 | 教育支援センター内に設置された適応指導教室（Let's教室）は、令和７年９月からニーズの高かった午後も開室しています。<br>令和８年度は「給食を食べること」が登校へつながる一つのきっかけとなるよう教育支援センターにおいて給食試食会を実施します。また、登校はできるがクラスに足が向かない児童生徒への学習支援を行うため、小・中学校に設置された校内教育支援センター（With）は、令和８年度、未設置の中学校４校に設置します。 | 20,605 | 学校支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>小学校給食運営事業 | 国の学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）事業を活用し、保護者の負担を軽減します。 | 665,203 | 教育総務課 |
| 鴻巣市立外小学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業<br>鴻巣市立外中学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業 | 多子世帯の経済的な負担の軽減を図るため、18歳に達する日以後の最初の３月31日までの間にある者から数えて３人目以降の児童生徒の市立外小・中学校等の学校給食費等を本市小・中学校の給食費を限度に給付します。 | 708 | 教育総務課 |
| 中学校給食運営事業 | 多子世帯の経済的な負担の軽減を図るため、18歳に達する日以後の最初の３月31日までの間にある者から数えて３人目以降の生徒の市立中学校の学校給食費を免除します。また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、生徒の学校給食食材費高騰分を支援します。（令和７年度繰越予算 18,568千円） | 418,155 | 教育総務課 |
| 【一部新規・拡充】<br>児童生徒体力向上推進事業 | 小学校における水泳指導について、専門的な知識や技能を有する民間事業者へ委託することで、教職員の負担軽減を図りつつ、専門性を生かした指導により、児童一人一人の技能や発達段階に応じた学習の充実を図ります。<br>令和８年度は、鴻巣北小学校をモデル校として実施します。 | 6,432 | 学校支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>小学校教育ICT環境整備事業<br>中学校教育ICT環境整備事業 | 小・中学校に導入したICT環境を維持管理し、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をより一層推進するとともに、効率的な校務の遂行により教職員の負担を軽減します。令和９年度のICT環境の更新に向け、令和８年度は、事業者の選定及び再構築を行います。 | 1,028,346 | 教育総務課 |
| 小学校施設改修事業 | 赤見台第一小学校の屋上防水等の改修設計業務のほか、小学校体育館空調設備の設計業務等を実施し、児童が安全かつ快適に学校生活を送ることができる教育環境を整備します。 | 46,361 | 教育総務課 |
| 中学校施設改修事業 | 中学校体育館空調設備の設計業務を実施します。<br>また、国による上尾道路の整備に伴い、鴻巣西中学校における施設移設等設計業務を実施するなど、生徒が安全かつ快適に学校生活を送ることができる教育環境を整備します。（令和７年度繰越予算 15,328千円） | 28,242 | 教育総務課 |

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額<br>（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 小・中学校適正規模及び適正配置事業 | 教育委員会で定めた「適正規模及び適正配置の計画」に基づき、大芦小学校と吹上小学校の統合に向けて、意見交換会等を行います。 | 61 | 教育総務課 |
| （仮称）川里義務教育学校整備事業 | 川里地域の学校新設に向けて、「川里地域小中一貫教育校の整備に関する基本構想・基本計画」に基づき、これまでの意見交換会等でいただいた意見を踏まえた上で、取組を進めます。<br>令和８年度は、建設予定地の用地買収等を行います。 | 14,070 | 教育総務課 |
| 【一部新規・拡充】<br>地域人材活用事業 | 部活動の地域展開を円滑に進めるため、部活動の受け皿となる新たな地域クラブの設立を支援する補助金を創設します。本事業は、立ち上げ期に必要となる備品購入や指導者への謝金、運営準備等に要する経費の一部を補助することで、地域クラブの円滑な運営開始を後押しし、子どもたちが継続してスポーツや文化活動に親しめる環境の整備を目的としています。併せて、学校部活動から地域クラブへの移行を段階的に進め、地域主体による持続可能な活動体制の構築につなげていきます。 | 5,499 | 学校支援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>こどもの居場所支援事業 | サポートが必要なこどもや家庭を支援するため、こどもの居場所コーディネーターを配置し、こどもの居場所や支援団体とのマッチングを推進します。<br>令和８年度は、引き続き鴻巣女子高校やこども食堂運営団体をはじめとする様々なステークホルダーと連携・協力し、夏休み等長期休業期間中に出張こども食堂in児童センターを実施します。また、母子家庭等対策総合支援事業と連動し、こども食堂を通じてコスメギフト（化粧品等）を配付する取組を新たに実施します。 | 6,362 | こども応援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>放課後児童クラブ管理運営事業 | こどもの主体性を尊重し、こどもの健全な育成を図るため、放課後児童クラブの運営を行います。<br>令和８年度は、今後入室児童数の増加が見込まれる松原小学校区内及び下忍小学校区内に、令和９年度の開設を目指し、民設民営による新たな放課後児童クラブの整備を進めます。 | 645,450 | こども応援課 |
| 【一部新規・拡充】<br>鴻巣児童センター管理運営事業 | 鴻巣児童センターの１階ホールを明るくしてほしいというこどもからの意見を受け、ホールのダウンライトを蛍光灯型LEDに改修し、照明環境の向上を図ります。また、「地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネや環境負荷の低減を実現するため、体育室の水銀灯をLED照明に改修します。 | 11,153 | こども応援課 |

# 政策２　保健・福祉・医療に関する政策
## （いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり）

政策２に関連するSDGs

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 後期高齢者健康診査事業 | 高齢者の健康管理及び介護予防のため、後期高齢者医療制度の保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合から事務委託を受け、鴻巣市が被保険者の健康診査を実施します。 | 107,001 | 国保年金課 |
| 予防接種事業 | 予防接種の実施により、感染症の発症及び重症化予防を図ります。<br>令和８年度は新たに妊婦に対しRSウイルスワクチンを開始するほか、既存の23価高齢者肺炎球菌ワクチンに代わり20価高齢者肺炎球菌ワクチンの導入、75歳以上の高齢者については既存の標準量インフルエンザワクチンに加え高用量インフルエンザワクチンの導入を予定しています。 | 463,947 | 健康づくり課 |
| 【新規】<br>高齢者インフルエンザ・新型コロナ予防接種促進事業 | 高齢者に対して、物価高騰による影響を緩和するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、高齢者インフルエンザ予防接種及び新型コロナウイルス感染症予防接種の自己負担額を市が一部負担し、市民の経済的負担を軽減することで、多くの高齢者の接種を促進し、重症化防止に寄与します。（令和７年度繰越予算 32,703千円） | 0 | 健康づくり課 |
| 保健衛生普及事業<br>（国保特会） | 人間ドック・脳ドック受診料の一部助成を行います。人間ドックの結果から生活習慣病のリスクがある者に対し、保健指導を行い、生活習慣病の発症を防ぐことを目的としています。<br>鴻巣保健所等と連携しながら、慢性腎臓病（CKD）のリスクがある対象者を抽出して医療機関への受診勧奨を行い、早期治療に繋げます。 | 44,140 | 国保年金課 |
| 【一部新規・拡充】<br>特定健康診査等事業<br>（国保特会） | 内臓脂肪型肥満に着目した糖尿病等の生活習慣病予防のための特定健康診査を実施し、健診結果から階層化した国保被保険者に特定保健指導を実施します。<br>令和８年度は、未受診者に対するAIによる自動架電業務を委託することにより、架電件数の増加及びSMSの送信により受診率の向上を図ります。 | 116,339 | 国保年金課 |
| 重層的支援体制整備事業 | 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施していきます。各分野の支援関係機関や支援者の対応力向上、連携体制の構築等の強化を行います。 | 17,415 | 福祉課 |
| ねんりんピック交流大会開催事業 | 令和８年度は「第38回全国健康福祉祭埼玉大会（ねんりんピック彩の国さいたま2026）」の開催年として、本市におけるソフトボール交流大会及び健康づくり教室を実施するための補助金を実行委員会に交付します。11月７～10日を会期に、３会場９面で最大71チーム、93試合を計画しています。各会場では、健康づくりブースやおもてなし処を設置するほか、本市の魅力も発信する大会を目指します。 | 18,695 | ねんりんピック推進プロジェクト |
| 難聴者補聴器購入費助成事業<br>（要援護高齢者等支援事業） | 聴力機能低下により日常生活に支障をきたしている65歳以上の身体障害者手帳の交付対象とならない高齢者に対し、閉じこもりやうつ病・認知機能低下及びフレイルの予防を図るため、補聴器購入費を助成します。 | 7,200 | 介護保険課 |
| 高齢者あんしんみまもりサービス事業<br>（要援護高齢者等支援事業、認知症サポーター養成等任意事業（介護特会）） | 誰もが安心して暮らせる仕組みづくりを強化するため、65歳以上の独居高齢者及び見守りが必要とされる高齢者世帯に対し、見守りサービスを案内し、月額2,000円を上限に市が負担します。 | 11,817 | 介護保険課 |

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額<br>（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 介護保険特別会計庶務事業<br>（介護特会） | 「第９期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が令和８年度をもって計画期間満了となることから、令和９年度から３か年を計画期間とする「第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するほか、業務システム関係経費、被保険者証等の発行経費などを計上し、もって介護保険事業の円滑な実施による地域包括ケアシステムの深化・推進を目指します。 | 66,734 | 介護保険課 |
| 【一部新規・拡充】<br>重度心身障害者医療費助成事業 | 重度心身障がい者に対する医療費の一部を支給することにより、重度心身障がい者やその家族の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ります。県の補助金交付要綱の改正により、令和８年１月診療分から対象者を精神障害者保健福祉手帳２級所持者まで拡大しました。 | 247,683 | 障がい福祉課 |
| 難聴者補聴器購入費助成事業<br>（難聴児（者）補聴器購入費助成事業） | 聴力機能低下により日常生活に支障をきたしている18歳以上から64歳以下の身体障害者手帳の交付対象とならない方に対し、家族や地域社会とのより良いコミュニケーションを確保し、社会参加の促進を図るため、補聴器購入費を助成します。 | 600 | 障がい福祉課 |

# 政策３　安全・安心に関する政策
## （安全・安心に暮らせるまちづくり）

政策３に関連するSDGs

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 【一部新規・拡充】<br>防災訓練事業 | 災害時において初動体制を確立し、迅速な応急対策を行うため、令和８年度は市民参加型の防災訓練として、新たに民間のノウハウを活用した避難所開設訓練を実施することにより、防災意識の高揚と知識の向上を図ります。 | 2,116 | 危機管理課 |
| 【一部新規・拡充】<br>家具転倒防止器具等設置促進事業 | 災害時における防火及び在宅避難を推進し、防災意識の高揚を図るため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、感震ブレーカー、家具転倒防止器具及び住宅用火災警報器などの購入・設置に対する補助金を交付します。<br>令和８年度は、高齢者世帯及び障害者手帳所持世帯は２回目の申請を可能とします。（令和７年度繰越予算 2,108千円） | 0 | 危機管理課 |
| 災害支援体制整備事業 | 関東平野北西縁断層帯地震による最悪の事態を想定した備蓄を目的に整備した防災備蓄センターに、令和３年度から「鴻巣市地域防災計画」に基づき物資の整備を進めています。なお、近年の災害における検証等を参考に品目や数量を見直し、ラップ式簡易トイレ等の追加整備を進めます。（令和７年度繰越予算 3,807千円） | 16,837 | 危機管理課 |
| 【一部新規・拡充】<br>防災行政無線管理事業 | 災害時等に市民へ迅速に情報伝達するため防災行政無線の維持管理を行っています。<br>令和８年度は「防災無線室無停電電源装置」と「固定系配信機器」を更新することにより、防災行政無線の安定した運用を図ります。 | 26,788 | 危機管理課 |
| 【新規】<br>消防ポンプ自動車更新事業 | 消防団の消防ポンプ自動車更新に際して、準中型免許不要の消防ポンプ自動車又は可搬消防ポンプ積載車を導入し、災害への対応力向上を図ります。<br>令和８年度は、可搬消防ポンプ積載車を１台購入します。 | 22,961 | 危機管理課 |
| 交通安全啓発事業 | 交通事故の被害を軽減し、命を守る自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全年齢を対象として、販売協力店での割引方式によりヘルメットの購入費用を助成します。（令和７年度繰越予算 3,048千円） | 517 | 自治振興課 |
| 交通安全施設整備事業 | 道路利用者の安全を確保するため、道路反射鏡や路面標示等の新設及び修繕を行います。 | 23,736 | 道路課 |
| 【一部新規・拡充】<br>地域防犯体制支援事業 | 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、自主防犯パトロールグループへの活動支援を行うほか防犯カメラの更新を行い、犯罪抑止の取組を継続します。<br>令和８年度は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、自治会・町内会による地域防犯カメラ設置費用の補助、住宅等における防犯対策費用への補助を行います。また、65歳以上の方又は障害者手帳をお持ちの方については、２回目の申請を可能とします。（令和７年度繰越予算 15,389千円） | 8,936 | 自治振興課 |
| 防犯灯管理事業 | 防犯灯を設置することにより、夜間の犯罪を予防し、市民の安全を図り、もって、明るい環境づくりに寄与するため、維持管理を行います。<br>水銀灯やナトリウム灯など、照明器具の不点が発生した時点で、長寿命で環境負荷の小さいLED灯への更新を行います。<br>また、防犯灯が設置されている独立柱について、５年に１度、点検を実施し、腐食等、不具合を早期に発見し、建て替えなど対応を図ります。 | 69,955 | 自治振興課 |

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額<br>（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 【一部新規・拡充】<br>エコな住環境づくり事業 | 市民が環境問題に関心を持ち、環境負荷の少ない住環境づくりに取り組むことを支援します。<br>省エネ家電製品買換え促進補助では、令和８年度、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、冷蔵庫に加えて、エアコン及び従来の蛍光灯からLED照明器具への買換えに対する補助を行い、家庭における二酸化炭素排出量の削減効果を高め、脱炭素社会の実現を目指します。なお、高齢者世帯及び障害者手帳所持世帯に対しては、交付額の加算を行います。<br>（令和７年度繰越予算 15,021千円） | 3,008 | 環境課 |
| 【新規】<br>生活者支援に係る水道基本料金４か月分免除 | エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した水道基本料金の４か月分免除（６月から９月検針分）を行い、負担軽減を図ります。 | 291,725 | 経営業務課 |
| 【新規】<br>次期水道事業ビジョン策定事業<br>（水道事業会計） | 水道事業の基盤強化を図るため、将来を見据えた今後の事業の方向性を示すとともに、中長期的な投資財政計画の策定を行い、令和10年度を始期とする次期水道事業ビジョンを策定します。 | 13,230 | 経営業務課 |
| 鴻巣市水安全計画見直し業務委託<br>（水道事業会計） | 平成28年度に「水安全計画」を策定し、安心・安全な水道水の供給ができる水道システムを構築しています。今回、環境省が定める水質基準の一部改正や事業環境の変化等を踏まえて、計画の全面的な見直しを実施します。 | 10,000 | 水道課 |
| 配水管新設及び布設替工事<br>（水道事業会計） | 「配水管路更新計画」に基づき、国庫補助金を最大限に活用した配水管布設替工事を実施するほか、漏水多発路線及び市の道路工事に併せて、配水管布設替及び新設工事を実施します。 | 525,995 | 水道課 |
| 【新規】<br>馬室浄水場NO.2及び吹上第二浄水場NO.3配水池耐震補強設計業務委託<br>（水道事業会計） | 施設の耐震化を図るため、馬室浄水場NO.2と吹上第二浄水場NO.3配水池の耐震診断結果に基づき、配水池耐震補強の設計業務委託を実施します。 | 53,357 | 水道課 |
| 【新規】<br>テレメータ更新工事<br>（水道事業会計） | 各浄水場や井戸の稼働状況などの情報をNTT専用回線で伝送し、馬室浄水場で中央監視を行っていますが、サービスが令和11年３月末に終了となることから、回線切替工事を実施します。 | 261,145 | 水道課 |
| 【一部新規・拡充】<br>水質監視装置更新工事<br>（水道事業会計） | 水質監視装置は、水道法で定められた項目を常時測定し、監視することができる装置です。令和８年度は、経年劣化が進んでいる当該装置の更新工事を実施します。 | 93,863 | 水道課 |
| 元荒川第13処理分区汚水管渠築造工事<br>（公共下水道事業会計） | 快適で衛生的な生活環境を確保に向け、「北新宿第二土地区画整理事業計画」に伴い、当該地区内の汚水管渠築造工事を実施します。 | 110,200 | 下水道課 |
| ウォーターPPP導入事業<br>（公共下水道事業会計） | 持続可能な下水道運営を図るため、ウォーターPPP・管理・更新一体マネジメント方式[レベル3.5]の官民連携の導入を目指し、令和８年度は、管理を委託する施設や内容の検討を進め、導入に向けた資料を作成します。 | 46,860 | 下水道課 |

# 政策４　都市基盤に関する政策
## （都市機能と豊かな自然が調和した住みよい快適なまちづくり）

政策４に関連するSDGs

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 【一部新規・拡充】<br>住宅等耐震改修促進事業 | 既存木造住宅の耐震化の促進を図るため、助成対象を平成12年基準にまで拡充し、耐震診断や耐震改修に要した費用の一部を助成します。また、ブロック塀等の倒壊を未然に防ぐために、危険ブロック塀等の撤去や生け垣の設置を行った者に補助金を交付します。 | 1,050 | 建築住宅課 |
| 【一部新規・拡充】<br>住宅リフォーム支援事業 | 居住環境の向上と市内産業の活性化を図るため、市内業者を利用して住宅の改修を行った者に補助金を交付します。<br>令和８年度は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施し、高齢者世帯及び障害者手帳所持世帯に対しては、定額を加算して補助金を交付します。<br>（令和７年度繰越予算 20,096千円） | 0 | 建築住宅課 |
| 北新宿第二土地区画整理事業 | 土地区画整理事業による健全な市街地の形成を図り、良好な住環境を整備するため、引き続き、物件移転補償、区画道路等の整備を実施するとともに、保留地公売を促進し、事業の進捗を図ります。 | 520,587<br>一般会計操出金<br>317,000 | 市街地整備課 |
| 広田中央特定土地区画整理事業 | 土地区画整理事業による健全な市街地の形成を図り、良好な住環境を整備します。<br>令和８年度は、換地処分を行い事業の早期完了を目指します。 | 122,149<br>一般会計操出金<br>149,000 | 市街地整備課 |
| 道路改修事業 | 市道の老朽化した舗装の打ち換えや、道路排水構造物の更新など、道路機能の改善を図るための改修工事を行います。<br>令和８年度は、22件（22路線）の舗装打ち換え等の工事を行います。 | 115,200 | 道路課 |
| 幹線道路等整備事業 | 「舗装の個別施設計画」に基づき、幹線道路等の老朽化した舗装の打ち換えなどの更新を行い、道路機能の改善を図るための改修工事を行います。<br>令和８年度は、３路線の舗装打ち換え等の工事を行います。 | 66,200 | 道路課 |
| 道路改良事業 | 市道の拡幅や側溝を新設するなど、道路機能の向上を図るため改良工事を行います。<br>令和８年度は、15件（16路線）の側溝布設等の工事を行います。<br>（令和７年度繰越予算 15,297千円） | 125,764 | 道路課 |
| 市道A-1004号線整備事業 | 車両の円滑な通行と歩行者の安全を確保するため、国道17号箕田(南)交差点から北側(川里地域側)約100m区間において、交差点改良に取り組みます。<br>令和８年度は、改良工事を行います。<br>（令和７年度繰越予算 13,500千円） | 66,325 | 道路課 |
| 上尾道路接続市道整備事業 | 上尾道路整備に伴う接続市道の拡幅整備等を行うことで、道路ネットワークの強化と交通環境整備に取り組みます。<br>令和８年度は、市道A-2045号線(宮前･登戸･糠田地区)の物件調査ほか、７路線(大間･滝馬室･原馬室地区)の路線測量を行います。 | 31,530 | 道路課 |
| 荒川左岸通線整備事業 | 高崎線西側区域の南北交通の幹線道路として、原馬室地内から松原２丁目地内の主要地方道さいたま鴻巣線までの約630m区間の都市計画道路を整備することで、地域間交通の利便性の向上を図ります。<br>令和８年度は、土地開発公社が先行取得した用地の買戻し及び物件調査を行います。 | 37,883 | 道路課 |

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額<br>（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 三谷橋大間線（３期工事）整備事業 | 上尾道路から荒川左岸通線までの約429m区間の都市計画道路を整備することで、鴻巣地域における東西交通の利便性の向上を図ります。<br>令和８年度は、用地買収･物件移転補償を行います。<br>（令和７年度繰越予算 26,257千円） | 219,445 | 道路課 |
| 駅南通線整備事業 | 上尾道路から荒川左岸通線までの約366m区間の都市計画道路を整備することで、上尾道路から鴻巣駅西口及び大間近隣公園等へのアクセス向上を図ります。<br>令和８年度は、物件調査を行います。 | 25,776 | 道路課 |
| 元荒川上流第１排水区雨水管渠築造工事<br>（公共下水道事業会計） | 安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するため、「北新宿第二土地区画整理事業計画」に伴い、当該地区内の雨水管渠築造工事を実施します。 | 95,300 | 下水道課 |
| 西部第３排水区雨水整備事業<br>（公共下水道事業会計） | 「雨水管理総合計画」に基づき、既設の大間１号調整池を補完し、幸町や大間地内周辺の浸水被害の軽減を目的に、中堀第３号雨水幹線及び大間２号調整池の整備を進めます。 | 16,928 | 下水道課 |
| 【一部新規・拡充】<br>一般下水道維持管理事業 | 一般下水道管の老朽化に起因する道路陥没等の事故発生を未然に防ぐため、鴻巣地域に布設されている一般下水道管の調査を計画的に行います。<br>（令和７年度繰越予算 3,200千円） | 29,052 | 下水道課 |
| 公共交通維持事業 | 地域の通勤・通学等の交通手段を確保するため、コミュニティバス「フラワー号」の運行経費の補助を実施します。また、令和７年度に実施した市民アンケートの結果や本市の現況を整理し、持続可能な公共交通について令和９年度を始期とする「地域公共交通計画」を策定します。 | 155,772 | 自治振興課 |
| デマンド交通運行事業 | 高齢者や障がい者の方を中心に、市民の日常生活の移動手段として定着している「こうのす乗合タクシー」及び「ひなちゃんタクシー」について、利用者ニーズに対応しながら運行を継続します。 | 113,738 | 自治振興課 |
| 鴻巣駅東口エレベーター整備事業 | 高齢者、障がい者及び子育て世代の方々も含め、鴻巣駅の利用者がより利用しやすい環境を目指し、駅東口に接続するエレベーターを整備します。<br>設置工事は、令和８年度から９年度にかけて行います。<br>（令和７年度繰越予算 18,547千円） | 13,926 | 都市計画課 |
| 既設公園施設・遊具改修事業 | 遊具・公園施設の点検結果に基づき施設の改修工事を行い、安全性と快適性の向上を図ります。<br>令和８年度は、点検結果によって対策が必要と判断された遊具の改修工事を行います。また、和式トイレの洋式化などの改修工事や上谷総合公園テニスコートの人工芝修繕を行います。 | 35,411 | 都市計画課 |
| （仮称）北新宿近隣公園整備事業 | 北新宿第二土地区画整理事業地内において、地域の憩いの場となる公園を整備します。<br>令和８年度は、令和７年度に引き続き（仮称）北新宿近隣公園の施設整備工事を行うほか、四阿・トイレの新築工事を行います。 | 236,044 | 都市計画課 |
| コウノトリの里づくり事業 | 鴻巣市の鳥「コウノトリ」との共生による「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」の実現を目指し、自然環境を保全・再生する取組のほか、環境教育を推進します。 | 7,775 | 環境課 |
| コウノトリ飼育施設管理運営事業 | 「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現に向けた推進拠点としてコウノトリ野生復帰センターの管理運営を行います。<br>また、自然と共存する持続可能なまちづくりのシンボルとしてコウノトリのつがいを飼育し、自然環境の保全・再生に取り組むとともに、将来の放鳥を目指し、関東地方におけるコウノトリの遺伝的多様性を考慮した托卵も視野に入れ、繁殖に取り組みます。 | 28,993 | 環境課 |

# 政策５　産業に関する政策
## （にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり）

政策５に関連するSDGs

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 【新規】<br>こうのす空・花クーポン券２０２６事業 | エネルギー、食料品等の物価高騰に伴い影響を受けている市民と、併せて原材料費等の価格高騰の影響を受けている市内事業者を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的に、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、「こうのす空・花クーポン券2026(にーぜろにーろく)」を発行します。（令和７年度繰越予算 462,931千円） | 0 | 商工観光課 |
| 商工会補助事業 | 商工会が実施する商工業者への経営支援や各種事業に補助金を交付することで商工業の振興を図ります。令和８年度は、昨年度に創設した経営革新計画策定事業補助金により経営革新に取り組む事業者に対して財政支援を行うなど、引き続き商工会と連携して市内事業者に対する各種支援を行います。 | 42,094 | 商工観光課 |
| 【一部新規・拡充】<br>空き店舗対策事業 | 空き店舗対策事業費補助金（市内空き店舗を活用する新規出店者へ店舗改修費・広告宣伝費・店舗賃借料等の一部補助、空き店舗所有者へ店舗改修費等の一部補助）を増額し、商店街等の空き店舗の解消とにぎわい創出に繋げていきます。 | 4,850 | 商工観光課 |
| 環境保全型農業直接支払交付金事業 | 農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るために、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全効果の高い農業生産活動を支援します。 | 2,272 | 農政課 |
| 【新規】<br>肥料価格高騰対策支援金給付事業 | 世界情勢のめまぐるしい変化や世界の穀物需要の増加などを受け、肥料価格の高騰が続き、農業経営に影響が及んでいることから、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、肥料購入費の一部を補助することにより、農業者を支援します。（令和７年度繰越予算 43,354千円） | 0 | 農政課 |
| 渡内糠田排水機場維持管理事業 | 地域の湛水を防ぎ、地域住民の生活と農地等を守るため、渡内糠田排水機場や足立北部排水路等を適正に維持管理します。<br>令和８年度は、２号ポンプの整備補修工事を実施します。 | 70,379 | 農政課 |
| 道の駅整備事業 | 「道の駅」の整備により、道路利用者の利便に供し、本市の農産物・加工品・工芸品及びその他物品の紹介、販売、地域情報の発信並びに交流の促進等により、にぎわいの創出と地域産業の振興を図ります。<br>令和８年度は、道の駅の建築工事に着手するほか、引き続き道の駅の土木工事やアクセス道路の工事を行います。 | 1,283,222 | 道の駅整備プロジェクト |
| かわさとフェスティバル開催事業 | 住民相互の交流を図るとともに、市内外に鴻巣市をPRすることを目的に、11月29日に川里中央公園及び川里農業研修センターを会場に開催します。<br>令和８年度は市民団体による模擬店、ステージの他、ミニSL、エアーペンシル迷路、上棟式のデモンストレーション、移動水族館、クラフト体験などの催しを企画しています。 | 2,000 | 川里支所 |
| 【一部新規・拡充】<br>観光交流促進事業 | 観光資源の活用による交流人口の増加により、地域産業の発展とにぎわいのあるまちづくりを一体的に推進するため、「花かおりPR推進事業」を「観光振興事業」に統合し、観光交流促進事業とします。<br>令和８年度は「第７次総合振興計画」の策定に合わせて、「観光戦略計画」の検証と改定を行います。 | 3,107 | 商工観光課 |

# 政策６　市民協働・行政運営に関する政策
## （市民協働による一人一人が主役のまちづくり）

政策６に関連するSDGs

| 事　業　名 | 事　業　概　要 | R8予算額（千円） | 所管課 |
|---|---|---|---|
| 市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業） | 市長が企業や事業所、市民活動団体等を訪問し、意見交換を通じて地域の課題や要望の把握に努め、市政の推進に活かしていくとともに、地元企業の取組や団体の活動を市民に紹介し、地域への愛着や誇りの醸成につなげていきます。 | 138 | 秘書課 |
| 市長への意見・提言事業 | 市民の皆さんの声を市政運営に活かし、ともにまちづくりを推進していくため、メールや手紙により意見・提言をいただく機会を設けます。 | 7 | 秘書課 |
| 第７次総合振興計画策定事業 | 本市のまちづくりの最上位計画である「第７次総合振興計画」を策定します。なお、計画期間は令和９年度から令和18年度の10年間です。<br>令和８年度は、基本構想及び前期基本計画の策定を進めます。 | 12,719 | 総合政策課 |
| 【一部新規・拡充】<br>公共施設等マネジメント事業 | 「公共施設等総合管理計画」に基づき、最適な公有財産の保有・利活用・処分によるファシリティマネジメントを推進します。<br>令和８年度は、旧吹上保健センター等の公売を予定しているほか、用途廃止施設の不用備品をフリーマーケットアプリに出品します。また、「鴻巣市公共施設等マネジメント民間提案制度」により、ネーミングライツに関する提案に加え、施設の有効な利活用策や効率的な維持管理に関する提案を民間事業者から募集します。 | 717 | 資産管理課 |
| 包括施設管理業務事業 | 各公共施設における管理の効率化と高度化を図るため、学校や公民館、保育所、市役所など139施設の保守点検業務等を一括して委託します。<br>令和８年度は、第２期契約に向けた公募型プロポーザル方式による事業者選考を行います。 | 518,616 | 資産管理課 |
| 情報系システム事業 | 本庁舎・新館及び保健センターの職員が使用する情報系貸与パソコンをデスクトップ型からモバイル型に変更したことにより、自席以外の場所での利用が可能となり利便性が向上しています。<br>今後も、LGWAN接続系ネットワークで職員が使用するパソコンやグループウェアシステム、各課の文書データが保存されているファイルサーバ等の安定した運用を図るため、適切に維持管理を行います。 | 110,699 | ICT推進課 |
| コンビニ交付事業 | マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスの普及促進を図り、住民への行政サービスの利便性向上及び窓口業務の効率化を推進します。 | 13,693 | 市民課 |
| マイナンバーカード交付事業 | 健康保険証のマイナ保険証を基本とする仕組みへの移行やカード及び電子証明書の有効期間満了に伴う更新手続き等に対応した円滑な業務処理を行い、継続的にカードの保有率向上に努めます。 | 44,620 | 市民課 |
| 【一部新規・拡充】<br>DX推進事業 | 「デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の計画期間が令和８年度に満了となることから、令和９年度から13年度まで５か年間の次期デジタル・トランスフォーメーション推進計画を策定します。策定に当たっては、国が示す「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づき進めます。 | 1,283 | ICT推進課 |
| 【一部新規・拡充】<br>SDGs推進事業 | 「SDGs未来都市計画」に基づき、市民・事業者・行政等が連携し、SDGs視点による地域課題の解決を図る取組を実施します。<br>令和８年度はSDGsの情報発信拠点となる「SDGs推進啓発コーナー」整備や、こうのとりSDGsパートナーの取組を発表する「SDGs取組事例発表会」の開催などを通じて、市民や事業者等への情報発信の強化及びSDGsに対する行動変容を促します。 | 9,691 | 総合政策課 |

# 令和８年度施政方針及び予算(案)の大綱【概要】

令和8年度における施政方針及び予算(案)の編成にあたっては、市民の皆さんの状況や行財政運営の現状を的確に捉え、行政の幅広い分野の各種事業を効果的・効率的に展開します。

また、第6次鴻巣市総合振興計画に掲げるすべての政策分野の総仕上げに取り組み、次の10年へとつながる確かな歩みとしてまいります。

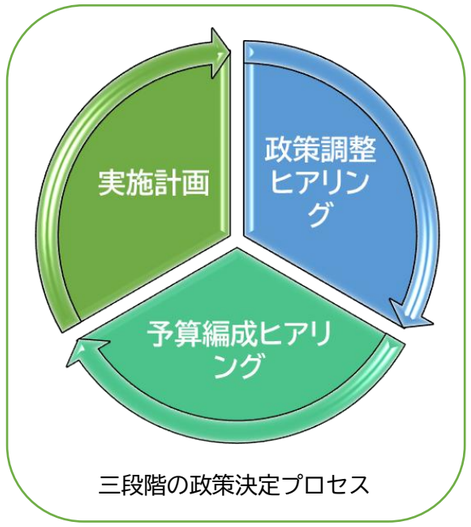
### ◆政策調整ヒアリング

行政評価の成果確認や政策への適合、今後の方向性等を踏まえ、実施計画で掲げた大型事業、新規事業等を対象に政策調整ヒアリングを実施し、事業の進捗状況や優先度等を確認・評価のうえ、各事業の方向性を決定しました。

### ◆予算ヒアリング

政策調整ヒアリングの結果を踏まえ、次の予算編成方針に基づき、効果的・効率的な予算編成に向けた予算ヒアリングを実施しました。

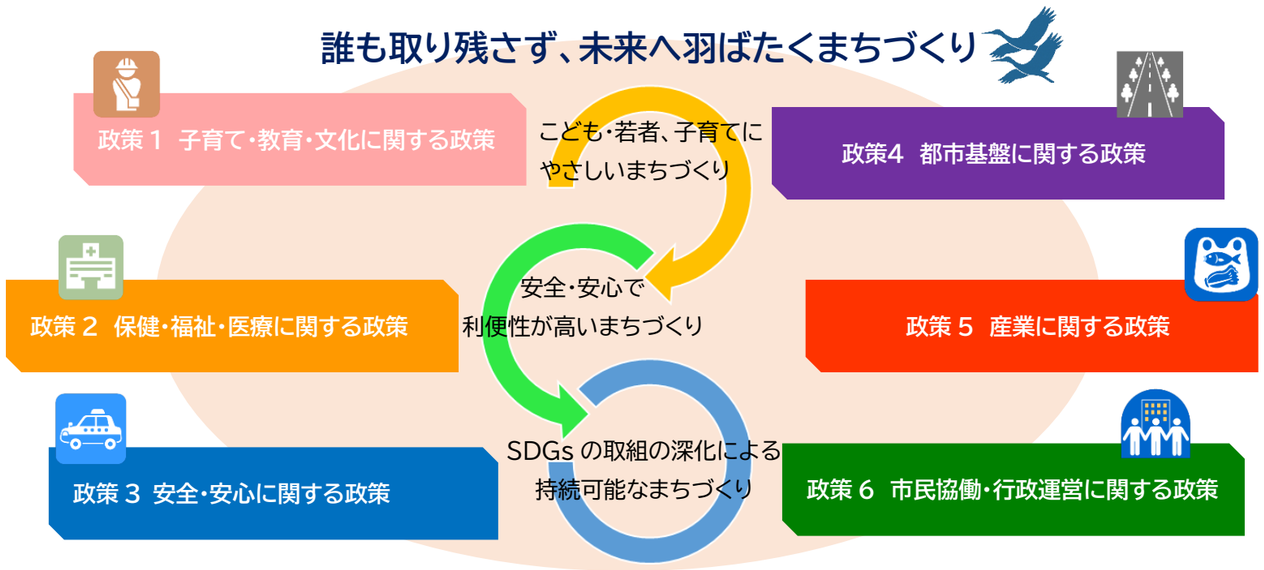
(1)計画に基づく施策の推進
(2)SDGs未来都市の実現に向けた取組
(3)市長公約の実現に向けた取組
(4)成果につながる持続可能な行財政運営
(5)公共施設マネジメントとの整合



三段階の政策決定プロセス

## ◎市政運営の3つの基本理念

令和8年度の市政運営にあたっては、3つの基本理念のもと、第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画に掲げる6つの政策と28の施策を着実に推進し、ウェルビーイングの向上を図ります。




**3つの基本理念のもと、6つの政策を横断的に推進し、令和8年度の各種事業を積極的に展開します。**

### (1)こども・若者、子育てにやさしいまちづくり こどもまんなか

笑顔あふれる温かい子育て環境の実現を目指し、学びと成長、そして家庭と地域での安心を切れ目なく支える体制を整備します。

こどもの権利条例の理念の実践として、こどもの意見を聴く機会の増加に努めるほか、相談場所や居場所づくりの支援、妊産婦健診助成の拡充、子育て支援センターの機能強化などのほか、吹上地域に保育所と児童発達支援センター、子育て支援センターの機能を有する複合施設を建設します。

また、児童センターにおいて出張こども食堂を引き続き実施し、地域とのつながりと食の安心、そして交流の輪を広げます。

学校教育では、適応指導教室「Let's」と校内教育支援センター「With」を拡充し、必要な支援に迷わずアクセスできる体制を整備するほか、小・中学校体育館への空調設備導入に向けた設計業務を実施します。

### (2)安全・安心で利便性が実感できるまちづくり

社会インフラの計画的な更新、防災・防犯・交通安全施策などを総合的に推進し、市民の皆さんが日常生活の中での確かな安全と安心を実感できる環境を整備します。

住宅用火災警報器の更新の促進や家具の転倒防止の支援を一層拡充するほか、地域防犯カメラの設置支援により、通学路などへ計画的な整備を推進します。

また、「鴻巣市地域公共交通計画」を策定し、移動への不安を軽減しつつ、持続可能な公共交通を展開します。

さらに、高齢者、障がい者及び子育て世代の方々も含め、駅利用者がより利用しやすい環境を目指し、鴻巣駅東口に接続するエレベーターの整備を推進します。

### (3)SDGs の推進による持続可能なまちづくり

環境負荷の低減、脱炭素の推進、市民協働と官民連携の拡大を図り、SDGs の理念を、全世代、全施策に拡げ、持続可能性を行政運営の基本として定着させることにより、「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現を目指します。

「EXPO 2025 大阪・関西万博」のレガシーなどを活用した「SDGs 推進啓発コーナー」を設け、本市やこうのとり SDGs パートナーなどの企業・団体による取組の紹介などを通じて SDGs に対する理解の促進や市民の皆さんの SDGs の実践へとつなげる取組を進めます。

また、内閣府より、本年9月に東京ビッグサイトで開催が予定されている「地方創生 SDGs フェス 2026」に関する情報の提供があり、出展に向けた調整を進めています。

さらに、行財政運営の面では、すべての政策に SDGs の理念を浸透させるほか、事業の目的や指標、期限を明示し、効果検証と重点化の徹底、官民連携の一層の推進などにより、限られたリソースを有効に活用します。

## ◎政策別の主な事業展開（新規・一部新規・拡充事業を中心に掲載）

### ◇政策1　子育て・教育・文化に関する政策

◇「こどものいけんばこ」による継続的な意見の聴き取りや夏休み期間の小・中学生のフラワー号運賃無料化（562 千円・こどもまんなか推進事業）
◇特定教育・保育施設への給付及びこども誰でも通園制度の本格実施【一部新規・拡充】(3,328,761 千円・特定教育・保育所等支援事業）
◇鎌塚・吹上富士見の両保育所及び児童発達支援センターつつみ学園を統合し、地域子育て支援拠点機能を加えた複合施設の整備（748,041 千円・吹上地域保育園等新設整備事業）
◇母子保健と児童福祉が一体となり、妊産婦や子育て家庭、こどもに対して切れ目のない相談体制による包括的・継続的な支援（29,405 千円・こども家庭センター事業）
◇川里ひまわり保育園子育て支援センターの週７日開設及びマザーズハローワーク大宮と連携した就労支援の実施【一部新規・拡充】(53,728 千円・地域子育て支援事業）
◇公正証書等の作成費用の助成及び児童扶養手当受給世帯にコスメギフト（化粧品等）を配布【一部新規・拡充】（23,704 千円・母子家庭等対策総合支援事業）
◇妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制に向け、産婦健康診査の助成回数を１回から２回に拡充【一部新規・拡充】(106,030 千円・母子検診事業）
◇特別支援学級や通級指導教室の増設及び医療的ケアが必要な児童の入学に備えた看護師の配置【一部新規・拡充】（80,345 千円・小学校ふれあいサポート事業）
◇小・中学校に設置している校内教育支援センター（With）を中学校４校に設置【一部新規・拡充】(20,625 千円・適応指導教室活用事業）
◇国の学校給食費の抜本的な負担軽減事業を活用した小学校給食費の無償化【一部新規・拡充】(665,203 千円・小学校給食運営事業）
◇市立外小・中学校等に通う多子世帯への学校給食費の補助（708 千円・鴻巣市立外小・中学校等給食費等多子世帯保護者負担軽減事業）
◇多子世帯の中学校給食費免除及び中学校給食食材費高騰分の支援＜R7 繰越予算 18,568 千円＞（418,155 千円・中学校給食運営事業）

### ◇政策２　保健・福祉・医療に関する政策

◇妊婦の RS ウイルスワクチン、高齢者の肺炎球菌 20 価ワクチン、高用量のインフルエンザワクチンの開始（463,947 千円・予防接種事業）
◇高齢者のインフルエンザ及び新型コロナウイルス予防接種の自己負担額の一部を負担【新規】＜R7 繰越予算 32,703 千円＞（0 千円・高齢者インフルエンザ・新型コロナ予防接種促進事業）
◇特定検診の未受診者に AI による架電や SMS を活用した受診勧奨【一部新規・拡充】(116,339 千円・特定健康診査等事業（国保特会））
◇第 38 回全国健康福祉祭埼玉大会ソフトボール交流大会」の開催（18,695 千円・ねんりんピック交流大会開催事業）
◇「第 10 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定（66,734 千円・介護保険特別会計庶務事業（介護特会））
◇医療費の一部負担の対象範囲を精神障害者保健福祉手帳２級所持者まで拡大【一部新規・拡充】(247,683 千円・重度心身障害者医療費助成事業）

### ◇政策３　安全・安心に関する政策

◇民間のノウハウを活用した市民参加型の避難所開設訓練を新たに実施【一部新規・拡充】(2,116 千円・防災訓練事業）
◇家具転倒防止器具等の購入・設置に対する補助【一部新規・拡充】(高齢者世帯・障がい者世帯の補助拡充）＜R7 繰越予算 2,108 千円＞（０千円・家具転倒防止器具等設置促進事業）
◇ラップ式簡易トイレ等の防災備蓄品等の整備（16,837 千円・災害支援体制整備事業）
◇準中型免許を要しない可搬消防ポンプ積載車の導入【新規】(22,961 千円・消防ポンプ自動車更新事業）
◇自転車乗車用ヘルメット購入の助成＜R7 繰越予算 3,048 千円＞（517 千円・交通安全啓発事業）
◇自治会・町内会による地域防犯カメラ設置費用の補助及び住宅等における防犯対策費用への補助（高齢者・障がい者への補助拡充）【一部新規・拡充】＜R7 繰越予算 15,389 千円＞（8,936 千円・地域防犯体制支援事業）
◇省エネ性能の高い冷蔵庫への買換えに加え、新たにエアコン、LED 照明の買換えに対する補助を追加（高齢者・障がい者への補助拡充）＜R7 繰越予算 15,021 千円＞（3,008 千円・エコな住環境づくり事業）
◇国の物価高騰対応補助金を活用した生活者・事業者への水道料金 4 か月分免除（291,725 千円・生活者支援に係る水道基本料金 4 か月分免除）

### ◇政策4　都市基盤に関する政策

◇市内業者を利用しら住宅の改修に対する補助【一部新規・拡充】(高齢者世帯・障がい者世帯の補助拡充）＜R7 繰越予算 20,096 千円＞（０千円・住宅リフォーム支援事業）
◇国道 17 号箕田(南)交差点から北側(川里地域側)約 100m区間における交差点改良＜R7 繰越予算 13,500 千円＞（66,325 千円・市道 A-1004 号線整備事業）
◇市道 A-2045 号線(宮前・登戸・糠田地区)の物件調査ほか、７路線(大間・滝馬室・原馬室地区)の路線測量（31,530 千円・上尾道路接続市道整備事業）
◇原馬室地内から松原２丁目地内の主要地方道さいたま鴻巣線までの約 630m区間の都市計画道路の整備に向けた物件調査等（37,883 千円・荒川左岸通線整備事業）
◇上尾道路から荒川左岸通線までの約 429m区間の都市計画道路の用地買収と物件移転補償＜R7 繰越予算 26,257 千円＞（219,445 千円・三谷橋大間線(３期工事)整備事業）
◇令和９年度を始期とした「鴻巣市地域公共交通計画」の策定（155,772 千円・公共交通維持事業）
◇鴻巣駅東口に接続するエレベーターの設置＜R7 繰越予算 18,547 千円＞（13,962 千円・鴻巣駅東口エレベーター整備事業）
◇インクルーシブ遊具や四阿、トイレなどを配した公園の整備（236,044 千円・(仮称）北新宿近隣公園整備事業）
◇関東地方におけるコウノトリの遺伝的多様性を考慮した繁殖及び将来の放鳥を目指した取組（28,993 千円・コウノトリ飼育施設管理運営事業）

### ◇政策５　産業に関する政策

◇物価高騰への対応として「こうのす空・花クーポン券 2026」を発行し、市民・事業者を支援【新規】＜R7 繰越予算 462,931 千円＞（０千円・こうのす空・花クーポン券 2026 事業）
◇商店街等の空き店舗の解消とにぎわいの創出に向けた補助金を増額【一部新規・拡充】(4,850 千円・空き店舗対策事業）
◇肥料価格の高騰により厳しい経営環境にある農業者に対し、肥料購入費の一部を補助【新規】＜R7 繰越予算 43,354 千円＞（０千円・肥料価格高騰対策支援金給付事業）
◇道の駅の建設・土木工事のほか、アクセス道路の工事（1,283,222 千円・道の駅整備事業）
◇観光資源の一体的な活用の推進に向けた「観光戦略計画」の検証と改定【一部新規・拡充】(3,107 千円・観光交流促進事業）

### ◇政策６　市民協働・行政運営に関する政策

◇令和9年度から令和18年度を計画期間とした本市のまちづくりの最上位計画となる第7次総合振興計画の策定（12,719 千円・第7次総合振興計画策定事業）
◇不用備品のフリマアプリでの売却や施設の有効な利活用策や効率的な維持管理に関する提案を民間事業者から募集【一部新規・拡充】(717 千円・公共施設等マネジメント事業）
◇公共施設の保守点検業務等の一括委託による管理の効率化と高度化に向けた事業者選定【一部新規・拡充】（518,616 千円・包括施設管理業務事業）
◇令和9年度から5か年間の次期デジタル・トランスフォーメーション推進計画の策定【一部新規・拡充】(1,283 千円・DX 推進事業）
◇SDGs の情報発信拠点となる「SDGs 推進啓発コーナー」の整備及びこうのとり SDGs パートナーの取組を発表する「SDGs 取組事例発表会」の開催【一部新規・拡充】(9,691 千円・SDGs 推進事業）

### 「誰も取り残さず、未来へ羽ばたくまちづくり」を推進します

令和 8 年度一般会計当初予算の総額は、472 億 2,900 万円、前年度と比較すると、40 億 9,800 万円、約 9.5%の増の過去最大の予算規模としています。

新たな鴻巣市として歩んできた合併後 20 年間のまちづくりを、次の 10 年への確かな推進力とし、市民の皆さんが、鴻巣市に誇りと愛着を持ち、子育てしやすく、学びやすく、働きやすく、住みやすいまちを築いてまいります。そして、市民一人一人が主人公となり、ウェルビーイングを実感できるまちを目指し、「誰も取り残さず、未来へ羽ばたくまちづくり」を推進してまいります。